

# 総合治水で水害のないまちに

## 5月15日(火)～21日(月)は総合治水推進週間

### 高まる洪水の危険性

田や畑などには、雨水を一時的にためたり地面に浸透させたりする保水・遊水機能があります。

田や畑などが開発され、地表面がコンクリートやアスファルトに覆われると、保水・遊水機能が低下します。その結果、同じ量の雨が降ったとしても、短

時間で川に流れ出る水量が増え、洪水の危険性が高くなります。

### 洪水を防ぐためには

洪水を防ぐためには川幅を広げたり川底を掘ったりして、より多くの雨水が流せるような河川工事をする必要があります。また、雨をためたり浸透させたりする施設を設置することによって、もともと田や畑などが持

っていた保水・遊水機能を取り戻し、一度に川に入ってくる雨水の量を減らすことで、洪水の被害を軽減することができます。このように川の中だけでなく、流域全体でも治水について考えることを総合治水対策といえます。

家の建築や建て替えの際には、下図に紹介するような流出抑制施設の設置を検討してはいかがでしょうか。

## 大雨がふると…



### 流出抑制施設

透水性舗装⇨雨水が舗装の中を通り抜けて地中にしみ込む舗装  
浸透ます⇨浸透機能をもった雨水ます



### ビジュアルボードフェア

過去に浸水した場所を图示した浸水実績図、浸透性舗装の仕組みや家庭でできる治水を分かりやすく展示します。

- とき▼6月26日(火)～29日(金)
- ところ▼作野公民館
- とき▼7月9日(月)～13日(金)
- ところ▼県知立土木事務所 (知立市上重原町)

問い合わせ▼土木課